

新 社 会 道 2010.3.29

## 商品券購入新年度は240万円分

【足寄】十勝管内足寄町の町職員労働組合（丸山一人委員長、167人）は新年度、地元商店での消費拡大策第2弾として、町商工会発行の商品券を、初回の2倍にあたる2400万円購入する。

組合員は今年4月から、通常の組合費とは別に9月までは給与の3%、10月～来年3月は5%を特別組合費として積み立て、組合員平均14万円強の商品券（額面500円、割り増しなし）を10月と来年4月の2度にわけて買う。

町職労は、町職員給与の独自削減が終了した昨年4月から、給与の復元分を地元還元しようと、給与の3%、8カ月分を積み立て、1130万円分の商品券を昨年12月に購入。

2月に行ったアンケートでは

### 足寄町職労 地元支援第2弾

「初めて利用した店がある」組合員が43人いるなど効果を確認。運動継続を決めた。

一方、「納品や連絡が遅い」「魅力的な商品がない」などの不満も出たため、商工会に改善策や新たな需要喚起策も提言する。

町商工会の新沼靖典会長は「帯広周辺の大型店との競争が厳しい中、2400万円分の経済効果は大きい。提言を積極的に取り入れた」と歓迎している。